



令和5年度

水稻の生育概況 vol.1



埼玉県マスコット
「コバトン」

(令和5年6月5日現在)
埼玉県農業技術研究センター

要 約

◎気象概況：4月は平年に比べ平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。

5月の平均気温は半旬ごとに変動が大きかったが月平均では平年並であった。降水量は第5半旬にまとまった降雨があり、月平均では多かった。日照時間の月合計は多かった。

◎生育状況：平年並みの生育を示しているが、5月下旬植のものは曇雨天の影響でやや軟弱傾向の生育を示している

◎今後取るべき技術対策

- ・育 苗：温度管理や通風に注意。苗の老化が見られる場合は追肥を実施する。
- ・水 管 理：浅水管理で分けつの発生を促し、有効茎が確保できたら早めに中干しを実施する。
- ・病虫害防除：いもち病（葉いもち）の常発地域では特に留意し、その他の病虫害も考慮し薬剤防除に努める。

1 気象の概況

4月の半旬別平均気温は平年よりかなり高く、特に第1半旬は平年より3.0℃高く、月平均では平年より1.9℃高かった。降水量は第3半旬を除いて平年並か平年より少なく、月合計では平年比40%であった。日照時間は、平年並か平年より多く、月合計では多く平年比115%であった。

5月の半旬別平均気温は第3、5半旬を除いて、平年並か平年より高く、特に第4半旬はかなり高く平年より3.4℃高かった。月平均では平年並で平年より0.4℃高かった。降水量は第2、5半旬にまとまった降雨があり、月合計では平年より多く平年比118%であった。日照時間は第3、5半旬を除いて平年並か平年より多く、月合計では平年より多く平年比111%であった。

2 生育の概況

(1) センター内生育相

ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

育苗期間は高温多照傾向に推移したが、徒長はみられず、おおむね良好な苗が得られた。

移植後の活着は良好であり、移植後20日調査時の草丈は平年比107%、茎数が平年比98%、風乾重は平年比99%と平年並に推移した。葉位

は高温多照の影響により進展が早かった。第5半旬に3日ほど低温寡照となり、移植後30日調査時の草丈は平年比100%、風乾重は平年比103%と平年並であったものの、莖数は平年比83%と少なく、葉位の進展も鈍化した。

イ 早植栽培（5月19日植 彩のかがやき）

育苗期間は多照であったことから、充実度が高く、良好な苗が得られた。植え痛みもなく、活着は良好であった。

(2) 県内全般

田植作業は大きな天候の崩れもなく、早期栽培、早植栽培とも平年並に進んだ。

5月上旬頃までに田植したほ場では、好天に恵まれたことから苗の活着及び初期生育は良好である。

5月中旬以降に田植したほ場では、下旬に低温寡照となったことから分けつの発生はやや緩慢で軟弱傾向の生育を示している。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

気象庁が6月1日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、平均気温、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込みである。

また、5月23日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は平年並か高い確率ともに40%である。

8月の平年と同様に晴れの日が多いとしている。

(2) 生育予測

ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温、日照時間は平年並と予報されていることから、平年並の生育が見込まれる。

イ 普通期栽培

向こう1か月の平均気温、日照時間は平年並と予報されていることから、平年並の生育が見込まれる。

麦あと栽培では、前作の麦類の生育が暖冬の影響で生育が進んでいたが、登熟期間の定期的な降雨などにより、収穫作業の遅延が懸念されている。これに伴い田植作業の遅延も予想されることから、苗の老化に注意する。

4 今後取るべき技術対策

(1) 早期、早植栽培

ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。基肥一発施肥体系の場合も同様である。

イ 病害虫防除

埼玉県病害虫防除所が5月26日に発表した令和5年度病害虫発生予報第2号（6月予報）では、5月中旬までの移植水稻ではいもち病（葉いもち）の発生量の予報は「やや多」、ヒメトビウンカの発生量の予報も「やや多」である。

また、病害虫防除情報「稲（早期栽培）のニカメイガ（ニカメイチュウ）について」も発表されているので、ほ場を観察し必要に応じて防除を心がける。

ウ 水管理

有効莖数（20～25本／株）が確保できたら小ひびが入る程度に中干しを実施する。

エ 雑草防除

水田を良く観察し雑草が発生したほ場は、草種等に応じた除草剤（中期、後期剤）を選択し、適期散布を行う。

（2）普通期栽培

ア 育苗

苗代の温度管理に注意する。原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して、箱当たり0.5g（N成分）程度の硫安等を500mlの水に溶かしてジョウロ等で散布し、葉についた肥料を清水で洗い流す。

イ 病害虫防除

埼玉県病害虫防除所が5月26日に発表した令和5年度病害虫発生予報第2号（6月予報）の水稻（5月下旬以降の移植）の育苗期～移植期防除対策を参考にする。いもち病（育苗期）が苗に発生した場合は、被覆した寒冷紗をはがすなどして通風の改善を行い薬剤による防除を実施する。

ウ 雑草防除

気温が高い時期になり雑草の生育が早まるため、田植え後雑草の葉齢を見ながら適期に適剤の散布を行う。

30℃以上の高温条件では、老化苗などを使用して除草剤の田植同時処理を行うと、株の枯死や生育阻害などの薬害が発生することがあるので注意する。

「イネ縞葉枯病防除マニュアル」について

イネの重要病害であるイネ縞葉枯病の防除技術を開発するため、農技研では農研機構や他県と共同研究を行い、県内向けに「イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版）」を作成しました。また、農研機構では、共同研究全体の研究成果をまとめた「イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル」をホームページで公開しています。

◎イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版 PDF 版）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/documents/ine-shimahagare-manyuaru.pdf>

◎イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル（農研機構 Web 版）

https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv_web/manual/start

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	14.5	11.5	21.2	17.4	8.6	6.2	0.0	15.9	40.5	33.5	
2	14.8	12.5	20.6	18.4	8.9	7.1	0.0	17.4	28.8	33.3	
3	16.4	13.4	23.3	19.5	10.5	8.2	22.5	16.3	37.5	32.4	
4	16.1	14.4	22.9	20.4	9.9	9.3	1.5	14.2	46.4	31.2	
5	15.8	15.3	22.4	21.3	10.2	10.1	0.0	13.5	39.2	31.6	
6	17.1	16.2	22.4	22.3	11.1	10.9	12.5	13.5	34.5	33.2	
平均	15.8	13.9	22.2	19.9	10.0	8.6	合計	36.5	90.7	226.9	197.1

5月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	18.9	17.1	26.3	23.2	12.0	11.8	0.0	13.5	56.0	32.9	
2	17.6	17.8	24.6	23.6	11.4	12.7	26.0	14.4	35.8	31.0	
3	16.6	18.3	21.2	24.0	13.0	13.4	17.5	16.5	20.7	30.1	
4	22.4	19.0	29.6	24.8	15.5	14.1	11.0	19.7	38.1	31.3	
5	18.6	19.8	24.0	25.6	14.0	14.9	75.0	21.7	31.0	32.0	
6	21.0	20.5	26.4	26.1	16.5	15.8	6.0	24.9	31.8	37.6	
平均	19.2	18.8	25.4	24.6	13.8	13.9	合計	135.5	115.1	213.4	192.0

注)半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は1991～2020年の気象台値。

2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
12.6	12.5	101	2.2	2.1	0.1	1.23	1.30	94	0.97	1.04	-0.07

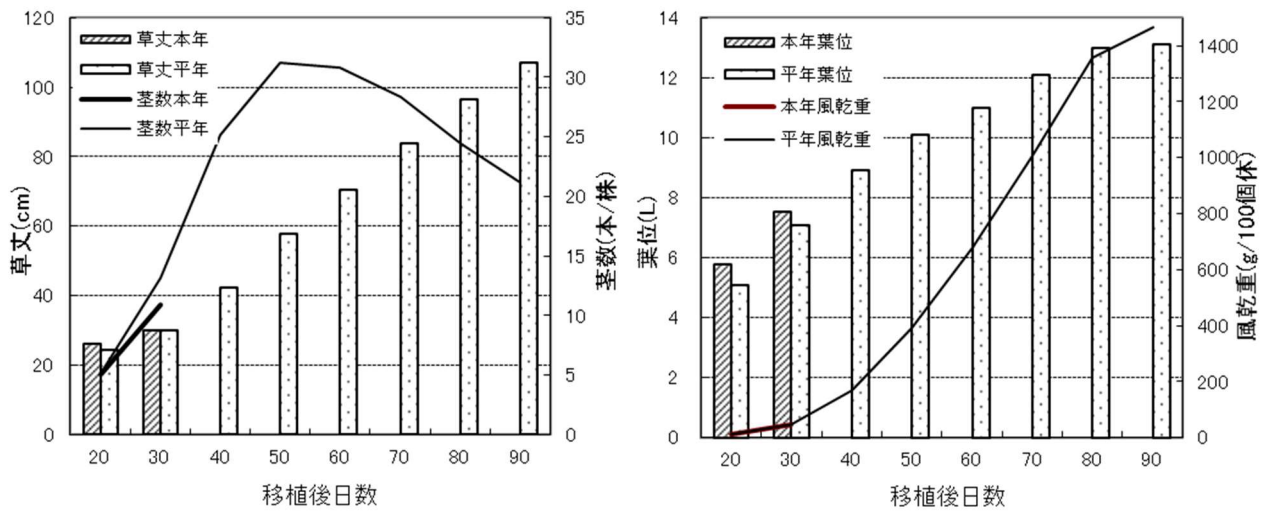
注)平年値は平成11年～令和4年の平均(H22を除く)。平年比は%、充実度は風乾重/草丈

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	26.2	24.5	107	5.1	5.3	98	5.8	5.1	0.7	11.3	11.5	99
30	30.2	30.2	100	10.9	13.2	83	7.5	7.1	0.4	48.9	47.6	103

注)平年値は平成11年～令和4年の平均(H22を除く)。平年比は%

(3) 生育経過

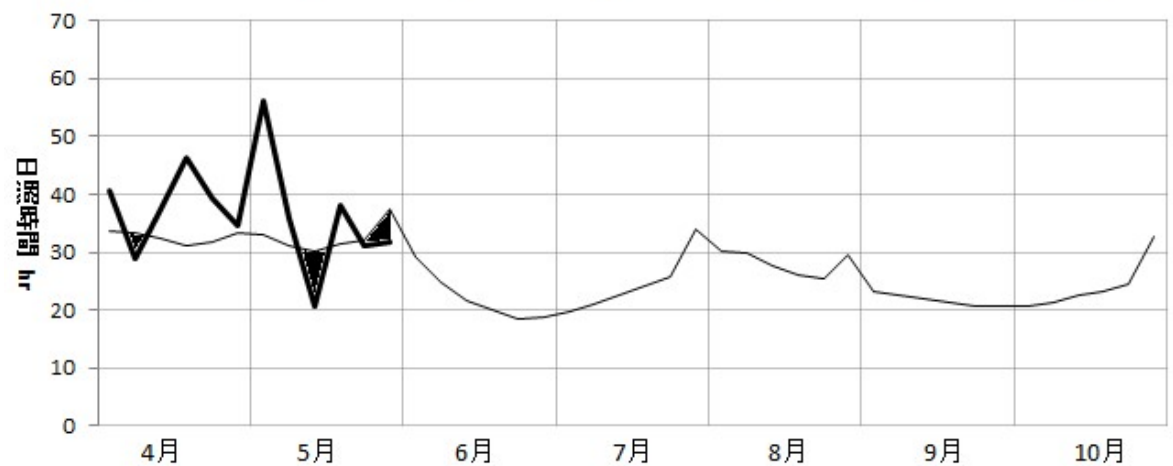
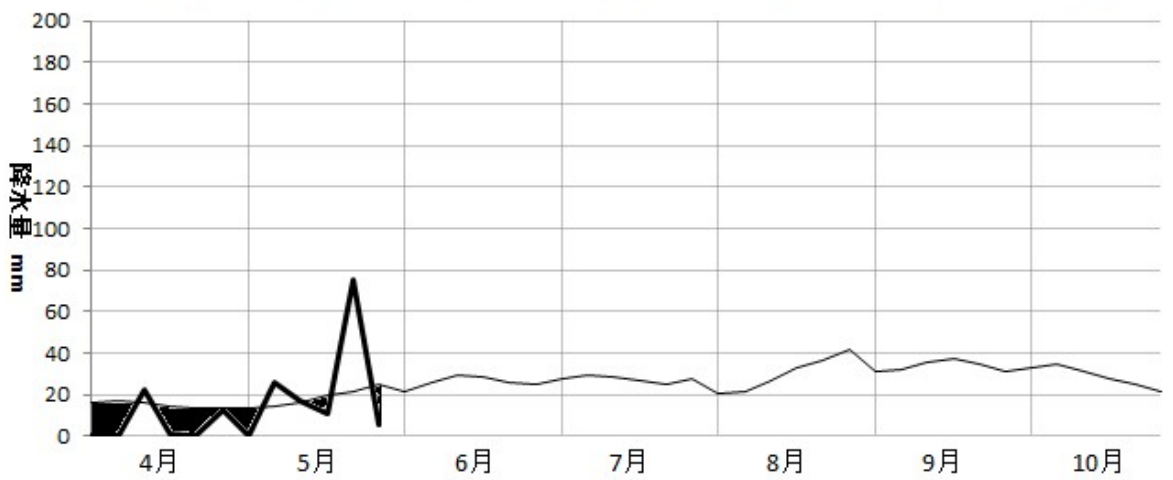
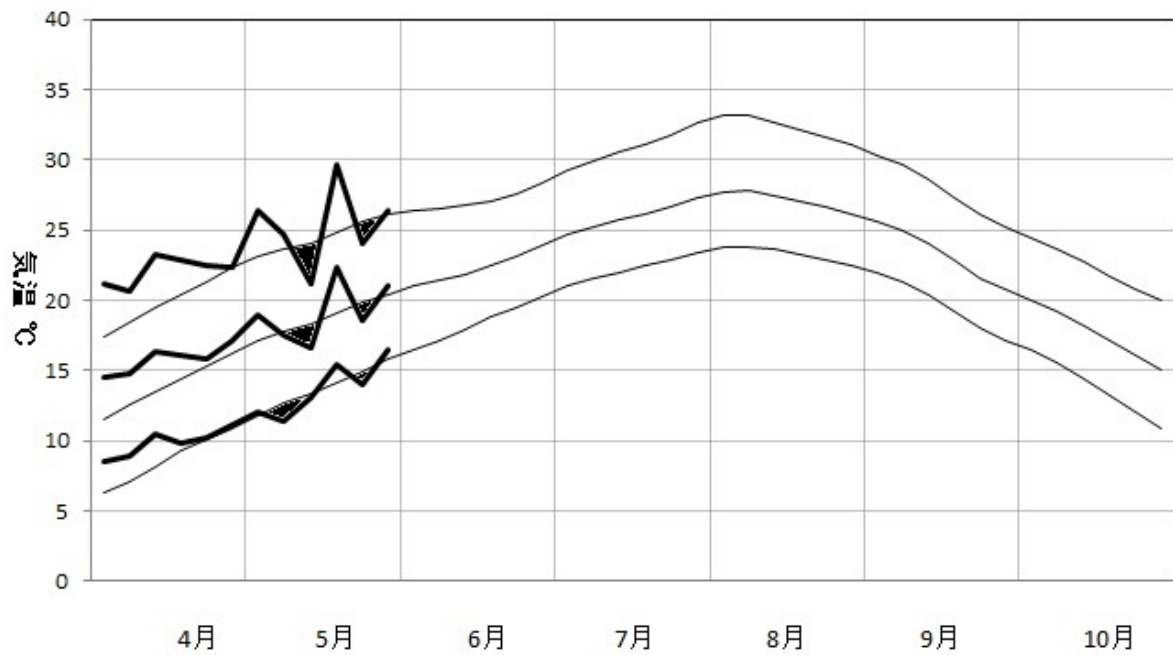


3 早植栽培 (5月19日植 彩のかがやき)

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
12.1	12.8	95	2.8	2.2	0.6	1.50	1.40	107	1.19	1.09	0.10

注) 平年値は平成12年～令和4年の平均。平年比は%



令和 5 年夏作期間気象図

(熊谷气象台日別測定値から作成)